

2020年度 大学院説明会

東京都立大学 理学研究科 物理学専攻

電子物性研究室

Correlated Electron Physics Lab.

教授 : 青木 勇二 (広島大→都立大)

教授 : 松田 達磨 (都立大→原子力機構→都立大)

助教 : 東中 隆二 (京大→理研→都立大)

客員教授:佐藤英行

大学院生:D1(2名/内1名は留学生)

M2(4名), M1(3名)

卒研生:4名









研究方針



- 新物質を発見しよう!
- 新奇量子現象が観測できる物質を研究しよう!
 - 異方的超伝導状態
 - 多極子秩序
 - 量子臨界現象
 - 強相関電子系の新奇量子状態の探索
- 新しい機能性材料へつながる基礎研究をしよう!
- 物質の対称性の破れと新しい伝導現象メカニズムを解明しよう!



研究対象



▼ 希土類金属間化合物

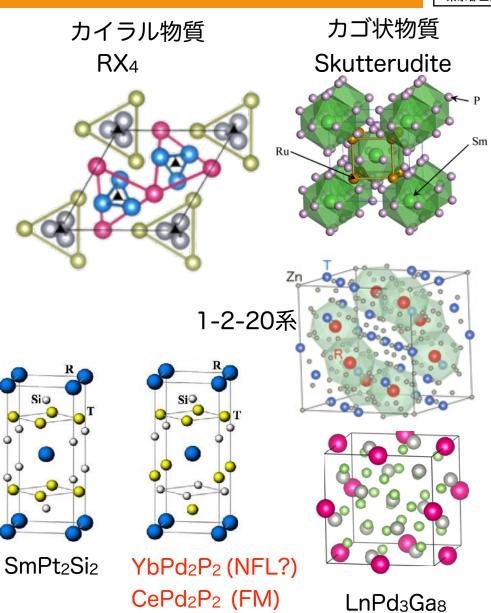
充填skutterudite (SmRu₄P₁₂) Sm, Yb系 1-2-20 Sm系 122 (SmPt₂Si₂) Ce & Yb系 122 1-3-7 系 (異方的カゴ構造を持つ) 1-3-8 系 (異方的カゴ構造を持つ) LnGa₆系 Ln₂TGa₁₂系

✓ 遷移金属化合物トポロジカル物質WTr₂ RX₄ (カイラル物質)

☑ 超伝導体

Yb 超伝導体 *LnTr*₂Al₂₀ (Ln: 希土類 *Tr*: 遷移金属) **ニクタイド系化合物**

☑ 新規機能性材料



電子物性研究室の最近の研究テーマ



✓ 強相関電子系の物理

- ・量子臨界現象
- ・多極子自由度・価数自由度が関与する新規量子相
- ・新規超伝導相の探索 強磁性超伝導

🔽 新規高温超伝導相の探索と新物質探索

- ・層状化合物における超伝導発現機構
- ・新しいキャリアードープ法による電子状態の制御
- **▽** 結晶の対称性や界面状態に起因する特殊な伝導状態やフェルミ面の研究
 - ・トポロジカル伝導に関する詳細な研究
- 🔽 極低温・強磁場・放射光施設・中性子実験施設を用いた研究
 - ・外部研究施設を用いた特殊な研究の推進

実験装置と研究プロセス





高圧合成炉



・高圧合成炉

- ·Box 炉 6台 (1150℃)
- · MoSi 縦型炉(1700℃)
- ・3 ゾーン マッフル炉
- ・テトラアーク炉
- ・FZ炉
- ブリッジマン炉
- ・グローブボックス

雷気炉専用室 (495室)

試料育成





・希釈冷凍機(DR) 2台 (0.05 K)

・4Heフリー14T マグネット (1.5 K)

• PPMS (0.1 K)

· MPMS (1.8 K)

・無冷媒 9Tマグネット

·GM冷凍機 (3.2 K)

PPMS ³He 冷凍機 及び ADR測定システム

0.1 K までの基礎物性測定





試料評価

- 粉末X線装置 (温度 5~1300 K)
- ・単結晶X線装置 (XtaLAB mini & Mercury)
- ・蛍光X線分析装置
- ・熱分析装置(TG-DTA)
- · 熱分析装置SEM/EDX (水口研)



Rigaku-Mercury

試料育成から低温強磁場測定までを onsite で閉じてできる環境

+

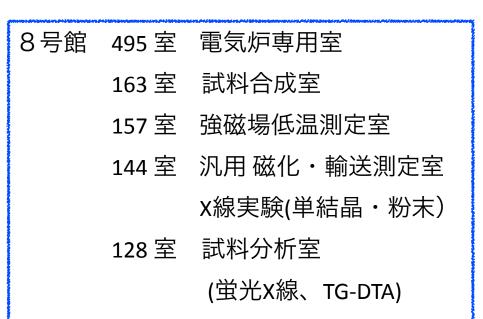
共同研究

多重極限環境 (高圧、極低温、高磁場) 放射光施設実験 中性子散乱実験 NMR、超音波測定等

高品位単結晶を合成する多彩な電気炉





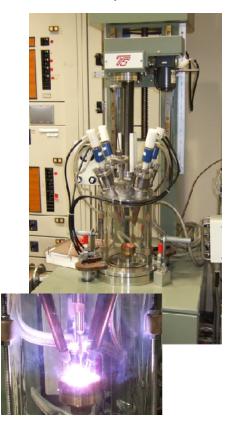


122室 学生居室



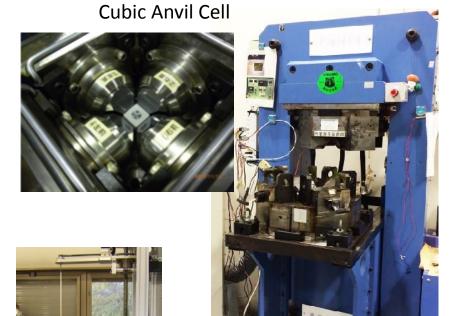
Crystal Growth Furnaces in the Lab.

Tetra Arc Crystal Furnace



Bridgman Crystal Growth Furnace (High Temperature MoSi₂ Furnace)

High Pressure Crystal Growth



Optical Floating Zone Furnace

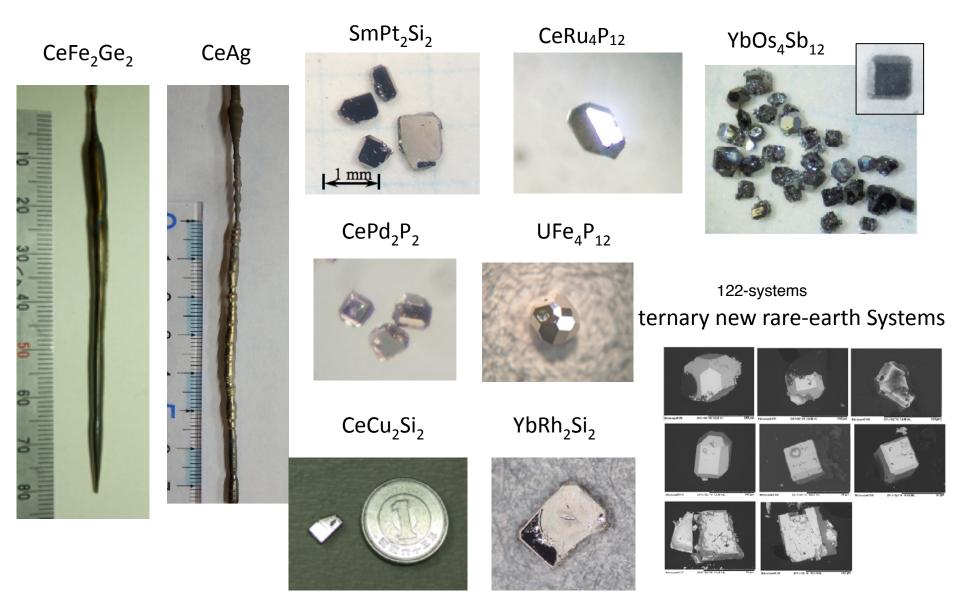






Three Zone Furnace (Chemical Vapor Transport)

Grown single crystals



科学研究費補助事業:新学術領域(2015-2019年)

6 研究

6 組

❷ 研算

0 活動

O 公身

0 共用

6 I

Ø 領域



プロジェクトメンバー



Topics F	-K^
2017.03.19	水口住一氏(D01)らが日本物理学会第22回(2017年)論文賞を授賞しました。論文の タイトルは"Superconductivity in Novel BiS2-Based Layered Superconductor LaO1- xFxBiS2"です。
2017.03.19	佐藤卓氏(A01) 6が日本物理学会第22回 (2017年) 論文賞を授賞しました。論文のタ イトルは"Observation of Magnetic Monopoles in Spin Ice"です。
2017.02.23	肯木大氏(801)6の論文"Pairing mechanism in the ferromagnetic superconductor UCoGe" がNature Communicationsに掲載されました。
2016.11.18	池田浩章氏(B01)らの論文"Exotic Multigap Structure in UPt3 Unveiled by a First- Principles Analysis"がPhysical Review Letters誌に掲載 され、Fermi面上の赵伝導ギャップの接幅を表した図が、Vol.117の表態を飾りました。
2016.10.27	肯木大氏(801)、野児浩之氏(801 公券研究)らの論文*Field-induced spin-density wave beyond hidden order in URu2S/2*がNature Communications誌に掲載されました。
2016.07.15	鬼丸孝博氏(D01)と精瀬博明氏(C01)の指符レビュー論文 Excite Quadrupolar Phenomena in Non-Kramers Doublet Systems — The Cases of PrT2Zn20 (T = Ir, Rh) and PrT2AI20 (T = V,Ti) — が、J. Phys. Soc. Jpn. 糖に掲載されました。

801: 退歴多極子による新奇量子伝導相								
研究代表者 青木 大	東北大学 金属材料研究所 教授	<u>Løb</u>						
研究分担者 石田 憲二	京都大学 大学院理学研究科 教授	<u>Lab</u>						
研究分担者 神戸 振作	日本原子力研究開発機構先端基礎研究センター 研究主席	<u>Lab</u>						
研究分担者 井澤 公一	東京工業大学 理学院物理学系 教授	Lab						
研究分担者 松田 達磨	首都大学東京 大学院理工学研究科 准教授	<u>Lab</u>						
研究分担者 柳瀬 陽一	京都大学 大学院理学研究科 准教授	<u>Lab</u>						

世界に広がる共同研究ネットワーク





TMU Y. Mizuguchi, K. Yanagi, Y. Goto, Y. Yomogida





KEK H. Sagayama, R. Sagayama, R. Kumai, Y. Murakami χ_{RD}

SPring 8 S. Tsutsui, M. Mizumaki XRD, XMCD



Y. Kono, S. Nakamura, S. Kittaka, T. Sakakibara LT magnetic meas. A. Miyake, M. Tokunaga High Field



Waseda(Tokyo Univ.) **T. Sugimoto, T. Mizokawa** XAS, ARPES Univ. Roma **N. L. Saini**



JAEA T.U. Ito, W. Higemoto μSR , NMR



CEA-Grenoble G. Knebel, A. Pouret, J.P. Brizon, J. Flouquet



CNRS-Grenoble S. Ilya, W. Knafo



Kobe Univ. H. Kotegawa, H. Tou NMR, NQR



Tohoku Univ. Y. Homma, F. Honda, D. Aoki Actinide BiS₂



UEC Y. Yuan, K. Matsubayashi Pressure work



Ibaraki univ. K. Iwasa Neutron



lwate univ. Y. Nakanishi, M. Yoshizawa Ultrasound

研究室の活動について



一週間のスケジュール例

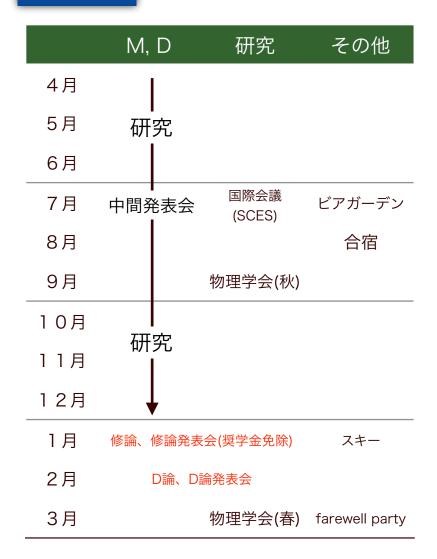
	月	火	水	木	金	土	日
1					報告会		
2		授業	授業	授業	報告会		
3	授業	授業			T.A.		バイト
4					T.A.		
5			バイト			土日は 基本的には	
6							
7						休	み

<u>ゼミ</u>:週に一回、物性実験に関連するテキストを 輪読します。(初心者向)

雑誌会:自身の研究に関連する論文を紹介し議論 します。

報告会: 英語で研究の進捗状況をプレゼンします (博士課程に留学生が所属)。英語でのプレゼン能力を鍛えるいい機会です。

年間予定



詳しくはこちらを…



東京都立大学 理学研究科 物理学専攻 電子物性研究室 HP http://www.comp.tmu.ac.jp/cep/

